



不屈の自由民権運動家 ひらしま まつ お 平島 松尾 (1854~1939)

近代政治史黎明期を語る上で不可欠な事項は、各地に波及した自由民権運動です。二本松には政治結社「明八会」ができ、会長に安部井磐根が就任、しかし自由主義の根本的な考え方の相違から別の道を歩み、のち互いに政敵として竜虎を競い合った人物が平島松尾でした。

松尾は安政元年(1854年)11月17日、勘定奉行平島正就の長男として旧郭内の一ノ丁に出生。漢学を藩教授の堀六石に学ぶとともに、剣術・馬術・弓術・砲術も各々の藩師範に師事、文武ともに熱心精励で、成績は常に群を抜いていたといえます。

戊辰戦争に際し、15歳の松尾は、抜擢されて御城番組諸口門番、次いで弾薬製造役を命じられました。そして藩領への西軍進攻にいたって、大砲方附を命じられ高田口に出陣。初めて戦争を体験したのです。松尾はのちに「余の一生を通じて死すべくして死なざりし事は度々なりしが、此の時を以てその初めとす」と述べています。

明治維新に際し、いち早く英語・洋学を修業。小学校教員となり、2年後に大蔵省に出仕、その2年後に帰郷し福島県属となり、退官しています。その決断となったのが、河野広中との出会いでした。

広中が主唱する自由民権運動に傾注した松尾は、民権思想啓発に奔走しました。明治15年(1882年)「自由は人の天性、自由を保つは人の道」のスローガンのもとに創刊された「福島自由新聞」の発行委員を担当。「人の自由なくしては新しい時代の政治は成立しない」とする進歩的な提唱は、新政府の厳しい弾圧に遭い、7号をもって廃刊となりました。民権運動は急速に退潮に追い込まれ、最高リーダー河野広中らが国事犯として捕らえられ、松尾も翌年に広中らと共に内乱陰謀罪で軽禁獄6年の刑を言い渡されたのです。

明治22年(1889年)出獄、翌年の第1回衆議院総選挙に自由党から立候補したものの、中立無所属の安部井磐根に9票の僅差で敗れました。しかし、その後も両者は政敵として7回の選挙戦を争い、通算3勝4敗の接戦激戦でした。磐根の政界引退後も4回当選し、自由民権政治確立に尽力、昭和14年(1939年)8月13日86歳をもって逝去。安達ヶ原公園に内閣総理大臣加藤高明が篆額した、頌徳碑が建立されています。



二本松ふるさと人物史
二本松市ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和6年1月~2月)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗							
空き巣							
出店荒し							
その他							-1
非侵入盗							
万引き	1(1)	3(1)				4(2)	-4
車上ねらい							
その他	1(1)		1(1)			2(2)	-1
自転車盗							-4
器物損壊							-1
住居侵入							
その他	4(2)		2(1)			6(3)	-7
合計	6(4)	3(1)	3(2)			12(7)	-18
前年対比	-10	-9	3		-2	-18	

※()は2月の発生件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる
「ながら見守り」活動の
協力をお願いします。



～福島県警察スマートフォンアプリ～

今すぐ!
POLICEアプリふくしま
のインストールをお願いします。



みなさんが
被害に遭わないための
最新機能を搭載しています!

インストールはこちら



二本松警察署電話 23-1212